

ばけものづかい

脚色・演出 山根 宏章

一幕

むかしむかし、とても人使いのあらい
おじさんがいました。
「お～い、お茶持って来～い!
風呂はわかしたか!
早く掃除を下さい!
おっとその前にお使いにいて…」
その人使いのあらい事といたら。
このおじさんが引越しをしました。
家賃は安いけれど、べんりおばけが
出るという評判の家です。
その晩のこと…。
どこからともなく生暖かい風が…。



ロシア・オムスク

第6回 国際人形劇祭
「アルレキンのお客様」
に参加(2019年)!!

『マリヤーナ・キセロワ記念賞』
とペトリューシカの『グラン
“ク”リ賞』を受賞しました!!

落語のおもしろさが
人形劇で
さらに楽しく!

プログラム (65分)

- 1部 大道芸アラカルト 南京玉すだれ 他
2部 古典落語より ばけものづかい

この作品は落語をもとにしてつくられたお話です。おじさんとおばけのやりとりの中で、全く楽天的に自分流に生きている主人公のたくましさにおかしさがこみあげてきます。演じる側と見る側が一体となっておなかの底から笑える、そんな作品になればと思います。

どんなところでも 人形と観客がひざをつきあわせ 手の届く位置で
心を通わせ 腹をかかえ笑って 楽しんでください。